

<英語語法マスター①⑥> 形容詞の語法②

① 分詞形容詞

surprise「驚かせる」、excite「興奮させる」など感情を表す動詞系は「する」ではなく、「させる」というのがデフォルト!

→ 原因が人にある感情を起こさせる というイメージ!

The news surprises me. 「そのニュースは私を驚かせる」

こういった動詞が「be動詞 + Ving」や「be動詞 + Vp.p」の形で使われると、それぞれの分詞は () として扱われる! これを分詞形容詞と呼ぶ。

① Vingは能動 → 原因をSにして「 () 」という形

The news was surprising. 「そのニュースは驚かせていた」
→ 「そのニュースは驚きだった」

名詞の前に分詞形容詞をつけるときにはその名詞が「 () 」となる。

This is surprising news. 「これは驚きのニュースだ」
(原因)

② Vp.p.は受動 → () をSにして「 () 」という形

I was surprised at the news. 「私はそのニュースに驚かされた」
→ 「私はそのニュースに驚いた」

名詞の前にVp.p.の形容詞をつけるときはその名詞が「(ある原因によって感情を引き起こされた)人」となる。 an excited audience 「エキサイトした観衆」

<分詞形容詞>

①	{ () 「驚嘆すべき」 () 「驚嘆して」	②	{ () 「面白い」 () 「楽しんで」
③	{ () 「驚くべき」 () 「驚いて」	④	{ () 「退屈な」 () 「退屈して」
⑤	{ () 「混乱させる」 () 「混乱して」	⑥	{ () 「期待はずれの」 () 「失望して」
⑦	{ () 「刺激的な」 () 「興奮して・わくわくして」	⑧	{ () 「恐ろしい」 () 「おびえて」
⑨	{ () 「楽しい」 () 「喜んで・気に入って」	⑩	{ () 「満足のいく」 () 「満足して」 etc

